

## 『全ストーリー撲滅計画』 情報まとめ



### 概要

【冒険タイトル】全ストーリー撲滅計画（GS扱い）

【推奨レベル】3 - 12（転生2OK・1は自己責任）

【報酬】1人10000セレンor20000セレン～

【取得予想経験点】5000経験点or10000経験点～

【経過】???

【推奨技能】拘束技能

【フラグ】誰かが持ってるかも

【難易度】イージーorルナティック

【概要】

レベルの範囲はあえて広くとっております。レベルが低いほど下駄を履かせますが、決して死なないという事ではありません。

リアナが度重なるストーリー行為でとっても困っております。

ちょっと大事なことをしたいようなのですが、

四天王とか言う集団ストーリーどもに困っているので何とかしてください。

そのためにちょこっとなら力を分けてくれるそうです。

「世界の秘密を知りたくないか？」

※この冒険にて催眠されたり洗脳されたり改造されたり悪堕ちさせられたりしても当方は一切の責任を負いかねます

## 注意点

参加キャラクターの変更は戦闘開始まで可能。  
途中参加は8/15夜（日曜日）まで。  
参加タイミングによって前金の額に多少の変動有り。  
冒険の結果によりナンバリングが3.9話か4話のいずれかになる。  
GS外伝でおなじみの深度ルールも有り。

## 依頼人リアナ

上陸の挽歌 8/13 21:03~22:11

四天王のストーキングに困っているリアナから四天王を数ヶ月ほど復帰できないくらいに痛めつけて欲しいとリアナから依頼を受けた。回復力がある四天王だがどこかに拉致して閉じ込めればいいと簡単に言う。ホオヅキの冒険者では四天王とまともに戦うのは難しいので必要なら今回限定のバフをかけてもらえる。

### バフの内容

冒険者レベルと手持ちの職業レベルを13まで上げ、アイテムが必要なスキル以外はすべて習得とする。（本冒険限定）  
職業前提条件無しでテオクリスタルで習得が可能な女性の師匠の奥義の一つ習得させてもらえる。

【繋ぎ】所持なら旧師匠の奥義も可。習得した奥義は本冒険が成功したら終了後も習得したままとなる。

四天王について簡単な説明を受けた。

シェルディナ	四天王のリーダー。刀使い。レベル13のミフネ・ダークビショップ
メルヴァ	レベル12の聖騎士・暗黒騎士・ダークビショップ
アキ	レベル12のmanaエンプレス・ダークビショップ
シオン	レベル12のパレスナー・ダークビショップ

出発は翌日の朝7時。行き先は海洋帝国ティガール首都リュカーから約一週間の場所にある【世界のへそ】。リアナの後をついてくるストーカーを倒せばいい。四天王全員が来るとは限らない。四天王はホオヅキにあるシオンの店に集まっているという。人数と面子及びバフの有無と習得する奥義を出発までにリアナに申告することになった。（出発しても戦闘が始まるまではバフを受けたことにしても良い。戦闘前まではスロットの入れ替えも可）  
前金として赤大金貨5枚を受け取った。

## シオンの店

上陸の挽歌 8/13 22:23~8/15 22:51

店の真ん中に大きなテーブルを置きその上に豪華な料理と酒を並べ、銀髪和服の女（シェルディナ）と黒い長髪の鎧姿の女（メルヴァ）と金髪でサイコっぽい顔をしたローブ姿の女（アキ）がそれぞれ手帳を開いてわいわい喋っている。テーブルの上には赤いマスコット（アキの使い魔Q）もいる。赤いロングポニーテールでメイド服を来た店主（シオン）が面倒そうな表情。聞こえた話からすると三人が集めた（リアナの）スケジュールを照らし合わせると、（リアナが）次の日に動く判断しているようだ。三人の話に聞き耳を立てていると、Qがこちらを見ているのに気がついた。（精神判定ではなくなぜか器用判定だった。伏線か？）Qはアキを叩こうとしている。  
隠れて聞くのは無理と判断した一行。アロンザが三人に話しかけた。そのやり取りでリアナが冒険者を偵察に出したのだと判断した三人は、やはり明日にリアナが出発する可能性が高いと話し合う。

四天王状況

シェルディナ	秘密は気になるが、また嫌われてしまうのが怖い。でもリアナの秘密は気になる。
メルヴァ	今回行くのに懐疑的。リアナに怒られないかと心配。でもリアナの秘密は気になる。
アキ	何が何でも行く。戦力にしたいのか他の三人も連れていきたい。
シオン	今は三人を静観している。あくまでメイド。

聞き耳を立てているうちに、アロンザ以外の気配にも気づいたのかシオンが店を見ていかないと一行を誘惑した。店の品揃えラインナップは以下の通り。

両替	セレン→赤金貨のみ。赤金貨は1枚1000セレン。赤大金貨は1枚1万セレン。紅白金貨は1枚10万セレン。 紅白金貨1枚 = 赤大金貨10枚 = 赤金貨100枚	
アスカロン	紅白金貨10枚	別名「聖ゲオルギウスの剣」。重さ20の刺しグレートソード扱い。アナザーワン。竜属性のエンチャントがあり、ベース+10、ドラゴンには更に+10。命中・ダメージ+2、ドラゴンには更に命中・ダメージ+3クリティカル-1。ドラゴンの使う魔法の抵抗+4。ドラゴンのプレスをディフェレクト+6で無効化可能、装備中ドラゴンの判定-1。この剣でドラゴンにダメージを与えた場合1ダメージにつき1ターン飛行能力を奪う。基本取引価格100万セレン。一点のみ。
ラブリュス	紅白金貨5枚	女神信仰の象徴となった対称形の両刃斧。重さ22~30（選べる）のグレートアックス扱い。レジェンド。命中・ダメージ+2、人間以外の動物へのダメージ更に+2、範囲攻撃の命中更に+2。装備しているときプリースト・ダークプリーストの祈祷に魔力+1、回復量に更に+2。基本取引価格50万セレン。一点のみ。
超エリュティア ロングスピア	紅白金貨6枚	槍。レッドペインターの効果が2倍。強化内容は、バフする能力値（6種類）、バフとエンチャントの割合4：1~0：5（5種類）、エンチャントの内容は傲慢・処刑・強欲・手癖・嫉妬・逆境・憤怒・バーサク・色欲・繁殖・暴食・ドレイン・怠惰・命・炎・聖・竜・混沌・相反のいずれか（20種類）。組み合わせ合計で600種類。
超エリュティア チェーン	紅白金貨6枚	鞭。レッドペインターの効果が2倍。強化内容は、バフする能力値（6種類）、バフとエンチャントの割合4：1~0：5（5種類）、エンチャントの内容は傲慢・処刑・強欲・手癖・嫉妬・逆境・憤怒・バーサク・色欲・繁殖・暴食・ドレイン・怠惰・命・炎・聖・竜・混沌・相反のいずれか（20種類）。組み合わせ合計で600種類。
オリハルコン インゴット	赤大金貨2枚	在庫20まで
ヒヒイロカネ インゴット	赤大金貨5枚	在庫30まで
ブルーメタル インゴット	赤大金貨8枚	在庫30まで
天竜の船首像	紅白金貨2枚	自分の船に取り付けると、船を冒険中使用したとき獲得名声+5
闇のヒスイ	紅白金貨1.5枚	持ち主に厄災が降りかかるそうになると、その厄災を他人に転化させてくれる。所持している人がファンブルした時に使うか選べる、使うともう一度ダイスを振りなおせる。1度使用すると割れて直せない。（使い捨て）重さ3。（データの振り直しのみ）
ターコイズプレス レット	紅白金貨1枚	ターコイズの宝石がちりばめられたプレスレット。恐怖抵抗に+3できるプレスレット。重さ1。

色欲は同性へのダメージ上昇、繁殖は異性へのダメージ上昇。（青文字は第3話でのデータ）

各々の取引は以下の通り。(8/14時点)

アロンザ	5万セレン→赤大金貨5枚 ターコイズプレスレット購入
エイル	100万セレン→紅白金貨10枚 超エリュティアロングスピア(筋力・0:5・ドレイン)を購入
エルル	50万セレン→紅白金貨5枚
プリシラ	150万セレン→紅白金貨15枚 アスカロンとラブリュスを購入
ミズキ	

一行がシオンと取引をしている間もアキが三人を説得している。リアナがどうして今の力を手に入れたのが気になっているアキ。アキは他の三人と違ってリアナよりもリアナの力に興味があった。アキの考えでは【世界のへそ】とはリアナが力を得る秘密の場所のようだ。リアナの秘密に迫れるならとシェルディナが行く方に傾きかける。シオンは態度を崩さない。ここでプリシラとミズキがこっそりと秘密を知ろうとすると嫌われるとシェルディナの耳に吹き込みシェルディナは葛藤。シオンによるとドラゴンは長い時を過ごすだけで力を強めるらしい。しかし、ヴァクスイリア(現赤竜皇帝)もリアナに懐いているので長生きだけでは限界があるのかも知れないとも言った。偉い竜ほど仕事をしない。偉い竜が動くだけで周囲に与える影響が大きいらしい。シオンが今あるのはヴァクスイリアとリアナのおかげ。ここでシオンの罠にかかりロングスピアを買おうとしたエイルがメルヴァとアキにいることを悟られた。メルヴァとアキに詰め寄せられ逆らえないエイルは依頼されたことの一部だけを口にして駆け引きを仕掛けるがリベントの痛みで隠し事があることもバレている模様。

#### 四天王状況

シェルディナ	葛藤している。
メルヴァ	リアナのストーキングはしなくてもいいけど、玩具(エイル)で遊びたいから行く。
アキ	エイルの揺さぶりも効かない。リアナが本気になったら星ごと壊せる。リアナの力の根源を知りたい
シオン	メイドですから。

ミズキはメルヴァをスルーしようと面白いことが好きなメルヴァに駆け引きを仕掛ける。エルルもアキと駆け引きをするがアキはリアナと世界の秘密を知るために一緒に行こうと一行を誘惑。

世界のへそ	この世界に開いた奈落の穴。リアナは月に一回頑なに予定を空けない日がある。これは四天王のそれぞれの手帳からも明らか。リアナは世界のへそで何かをする気で、そこにはリアナがある日突然(邪)神となった秘密があるはず。プリーストの神、ダークプリーストの邪神がどうやって僧侶たちに力を与えているのか？祈っただけで使えるから魔術とは違うはず。
-------	--

シオンによるとヴァクスイリアもリアナの力は底が知れないといていた。人間がなぜあそこまで力を持つかがわからない。シェルディナはこの数の冒険者では四天王のうち一人を止めるのが精々だと知っているが、なぜ今回冒険者は自信があるのか訝っている。

#### 四天王状況

シェルディナ	リアナの嫌がるのが世界を殺しかねないと言われ、揺れる
メルヴァ	世界のへそに入らなくてもいいからエイルの邪魔をしたい(享楽主義)
アキ	絶対リアナをストーキングする！
シオン	リアナの不興を買いたくないので行かない。

アキは四天王が世界のへそに入れず冒険者が世界のへその中の状況を知ったのなら、それを教えれば1000万セレン払ってもいいと言いつつ。アキは世界のへその場所を知っているかと一行にカマをかけた。言葉を濁すエイルだったが、アキは世界地図の中心を指し示した。



世界のへそ

世界のへその付近には不自然なくらいに航路がない。(船舶が近づかないように海流も流れている?) アキの予想では怪魚以外にも世界のへそに近づけないような仕掛けがあるという。海にぽっかり穴が開いているわけではないようだ。リアナの秘密はその場所にあるとアキは固く信じている。パレスの竜帝たちは世界のへその存在を知ってはいるだろうが、今はアクセスの手段もない。

シェルディナは一行に世界のへそに行くのか四天王を邪魔しに行くだけなのかと迫る。エルルはシェルディナに取引を持ちかける。エルルが世界のへそに入ったなら、そこで見たものをシェルディナにそのまま伝える。この条件を呑んでシェルディナは世界のへそに行くことを取りやめた。さらにエルルはQに話しかけると、Qはアキも知らなかったことを話し始めた。

世界のへそ

世界のへそは人工的に出来たものではない。穴ができた原因は空から何か落ちてきた事によるらしい。何が落ちたのかはQも知らないという。

シェルディナの脱落を見たミズキは次の攻略対象をメルヴァにした。ミズキは言葉巧みにメルヴァに、しつこいようならリアナに無視されるとか、今回我慢したらリアナにメルヴァへの好感度を上げるようなことを言うなどと揺さぶる。ミズキの交渉で傾いたメルヴァは、エイルを一晩貸すという条件で留守番するという約束をした。

世界のへそにどうやって行くのか。シオンの方に船で行くと答えたアキは、一行に自分たちの船を用意しろと伝える。ここで、シオンはリアナを乗せて世界のへそに行ったことがあると分かった。そこに何があったのかはリアナから口止めされているらしい。シオン自身、内部には入ったことはないようだ。

話が一段落して、一行はリアナのところに報告に行き、シェルディナがついてくることになった。アキは明日のための何かの準備をするらしい。

#### 四天王状況

シェルディナ	エルルに世界のへそで見たものを教えてもらう条件で留守番。
メルヴァ	リアナにメルヴァの好感度を上げるようなことを言い、さらにエイルを一晩貸すという条件で留守番
アキ	絶対に世界のへそに行く。明日は目にももの見せてやる!
シオン	実は世界のへそに行ったことがあるがリアナに口止めされている。留守番

## リアナとキミリア

上陸の挽歌 8/15 22:51~8/16 22:02

中央酒場でリアナはポータルを使うから何かちょうだいと理不尽な要求をキミリアに突きつけていた。そこに**シェルディナとメルヴァ**が今回のストーキング諦めてくれたことについて報告を入れた。二人の好感度が+1されたらしい。しかし、**血が欲しいシェルディナと精液が欲しいエルル**の希望は却下された。また途中参加した**プリシラとフィミア**に前金として赤金貨3枚が支払われた。出発は翌朝7時でリュカーへのポータル前に集合となった。一行は独自に船を調達しなければならない。そこで、キミリアと交渉し、武装キャラック船と船員25人を手配した。船のレンタル料は1万セレンで、船が帰ってこなかったら5万セレンを弁償することとなった。さらに水や食料や船員の給与など数千セレンの出費が必要なことを予告された。

行き先を聞いてきたキミリアに行き先を地図で指差すと、そこには《何故か航路がない》ということが分かった。事故の報告もなぜそこを通る航路がないのかもキミリアは知らなかった。

リアナは独自の船を用意できるらしいので、リアナの船に先導を頼んだ。エルルはリアナの船に乗りたいと言ったが却下された。出発は翌朝7時だが、今日のうちにリュカーに移動して寝てもいいということになった。うなだれていたキミリアからも激励(?)を受けた。現在時刻は18時。出発まであと13時間となった。一行はすぐにポータルを抜けてリュカーへと移動した。

## 帝都の港

上陸の挽歌 8/16 22:02~22:40

ポータルの向こう側ではキミリア元帥より連絡を受けた屈強そうな兵士が待ち構えていた。船がある場所まで案内してくれるというので案内されていく一行。船があるのは北の方の港らしい。そこは立派な灯台の近くで軍事基地も近くにあり、使用する船は普段海軍で使っている武装キャラックだという。至れり尽くせりなところから逆に漂うフラグ臭。船名はミニタイタニックだった。見た感じは普通だったが…。

エイルが名竜を召喚して放逐した。一方エルルは兵士を誘惑していた。

エイルは船長と経費や行き先について船長と打ち合わせをしておいた。船長も件の海域には行ったことがないという。船員たちのチェックをしてから休息。ミズキはエルルについての報告書を書き、その夜は何事もなく明けるかと思われたが――

## 赤の狂宴

上陸の挽歌 8/16 22:40~8/17 21:27

午前0時。船のすべての窓から強烈な赤い光が飛び込んできた。騒然となる船内。一行はほぼ全員飛び起きた。赤い光は狂紅病の深化をもたらす光だった。概ね抵抗した一行は甲板上がった。

帝都リュカーの港にある全ての灯台が赤い光を発していた。港に夜の闇は残っていなかった。27名の船員やクルーたちはもちろんエイルの名竜まで赤い光に侵されていた。10人ほどが灯台に向けて走り出したのでミズキが9人までを尻尾で捕獲。エイルが残った一人を灯台まで追いかけて殴って気絶させて連れ帰った。プリシラが呆けて動かないクルー7人を【無無明厄無】で治療したが、すぐに再び赤い光に侵されてしまった。根本的解決をするには灯台の光を消す必要がある。見れば、東の方向にある灯台の光は次々と消えていっている。しかし、300mほど離れた立派な灯台からの赤い光はなおも消えない。甲板に上がっていない11人を探すと、船室の中で赤い光に呆けていた。赤い光に侵されたクルーたちはどうやらエルルの言うことなら聞くようだ。灯りが消えた灯台の方からは爆発の光が見えた。何かが起きているが情報を集めにも行くことができない。甲板上で気絶している一人以外の15人をエルルが誘惑してから【ピュプノクラウド】で眠らせて、船内の11人も全員集めてきた。

全員を縛っておこうかとローブを集めているところで、怒り心頭なキミリアが上空からのキック(おそらく【ライトニングブレイク】)をエルルに浴びせたが、赤の加護に守られたのかエルルは無傷だった。キミリアが言うには灯台にクリスタルを仕掛けて赤い魔力を放射するのはリアナの仕業としか考えられない。早くクリスタルを破壊しろと一行に怒鳴るキミリア。甲板にいるクルーたちはキミリアの魔力の網に束縛された。

キミリアによると、爆発は灯台のクリスタルを破壊後に空爆を受けたことによるらしい。クリスタルの破壊自体は妨害されなかったという。ティガール軍の施設に直接被害を与えたことでようやくリアナを指名手配できるとキミリアはほくそ笑むのだった。

灯台	上陸の挽歌 8/17 21:32~23:16
<p>一行は全員で一分ほどかけて灯台に移動した。灯台の中は真っ赤で上になるほど赤が強まってくる。階段で一番上まで上がると大燭台の上に赤いクリスタルが乗せてあり、その上にQが乗っている。Qはクリスタルの上から素直にどいたが、<b>アキに目標指示をした。</b></p> <p>空爆がくると警戒する一行。その頭上から赤い隕石が5つ落ちてきた。着弾まで20秒しか無い。</p>	
1ターン目	
<p>ミズキが【スカイウォーク】で自身とプリシラとアロンザとエルルに飛行能力を付与する。プリシラは【点接肘】から蹴りと尻尾と【コンビネーションアーツ】の拳二発と蹴りを叩き込み、エイルは【浮遊】で空中に出ると【マテリアライズ+】で複製したジャベリンを【トリプルアタック】で三つクリスタルに投げつけ、フィミアは【ゴッドハンド】で拳をクリスタルに打ち付け、エルルは懲罰の刃をクリスタルに突き込み、アロンザが【飛び掛かり】でヨームの戦斧を叩きつけ、<b>ようやくクリスタルを破壊することができた。</b></p>	
2ターン目	
<p>エルルがフィミアを【テレポート】で遠くに飛ばし、ミズキとプリシラとアロンザとエルルは【疾走】で灯台から離れる。エイルも空中を移動して灯台から離れた。<b>落ちてきた隕石は【メテオスォーム】だった。全員が爆発半径から逃れることができダメージを免れた。</b></p>	
<p>ノーダメージで隕石を乗り切ったところで上空からアキが降りてきた。アキとの距離は10mほど。アキはゾディアック魔法の【星降の書】の詠唱を開始。一行が連戦を覚悟したとき、その場にキミア元帥が現れ、他人のゾディアック魔法からも身を守ることのできる巨大な【防御結界】を発動。<b>アキは即座に撤退した。</b></p>	

事後処理	上陸の挽歌 8/17 23:16~23:53
<p>灯台は隕石により圧潰していても修理はできそうにない。被害額は100万セレンを超える。キミアに犯人の名前を訊かれてアキだと答えたが、<b>アキというのはエリュティア神殿の中でだけ名乗っている名前だとどこからともなく現れたQが囁いていった。</b></p> <p>そこに睡眠を邪魔されたリアナが現れた。キミアが自制心を試されている間にリアナとやり取りをした。リアナは船員の深度をすべて吸い取ることができるが、それにキスが必要だと勘違いしていたエイルはそのままリアナを帰してしまった。<b>キミア元帥からは救護班を出してくれたので、船員たちのうち深度3以上の人員を交代させるようお願いし了承を受けた。</b></p> <p>船に戻り、ミズキとエイルでクルーたちの診察をして深度3以上だった7人を交代させて、残った深度2以下のクルーたちをミズキとフィミアとエイルで手分けしてウォーターセラピーで治療。そこまでの行動で午前2時となり休息をとった。</p>	

出発の朝	上陸の挽歌 8/17 23:54~8/18 21:44
<p>翌朝6時半、みんなでリアナに叩き起こされた。(4時間半の睡眠でTPが最大値の75%回復)</p> <p>リアナから与えてもらうバフ内容を決める時が来た。</p>	

【赤の超祝福】バフ内容（効果は一週間）

アロンザ	レベルアップ（13）【蛇舞】
エイル	レベルアップ（13）【蛇舞】
エルル	レベルアップ（13）【過剰生命力】
フィミア	レベルアップ（13）
プリシラ	無し
ミズキ	レベルアップ（13）【プラー】

奥義バフ不要の場合は最後に5万セレンか紅白金貨を1枚もらえる。

プリシラを除く全員がリアナからのバフを受けた。

キミアも女性将校を引き連れて見送りに来た。

アキの手配書ができたらしい。賞金は生死問わずで200万セレン。

フィミアはドゥバッハの槍をエイルに手渡した。

アロンザの手配で回復しきれないTPを補うためのメンタルポーションも得た。

無理やりリアナ号に乗ろうとしたエルルは赤い結界に阻まれた。

リアナはたくさんの本を船に積み込み、初めての一週間の船旅とウキウキしている。

（黙示録、アジル・アブ・アタフ、コヘレトの言葉の書、魔王の始め方、くっころ騎士になる本、etc.）

エイルは名竜にウォーターセラピーをかけて狂紅病を治療した。

全員の準備が整い、船は出航した。

帆もないのに推進するリアナ号が先導して約100m後方からミニタイタニック号についていく形。船速は1.3キャラック。



船旅

上陸の挽歌 8/18 21:45~22:27

甲板には常時二人のクルーと見張り台には常時一人のクルーがそれぞれいるが、レベル的に役に立たない。

一行は睡眠と見張りのシフトを作って船旅を始めることとなった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
アロンザ	見張り						睡眠																	見張り			
エイル	見張り						睡眠																		見張り		
エルル							見張り						睡眠														
フィミア			睡眠														見張り										
プリシラ	睡眠								見張り															睡眠			
ミズキ	睡眠															見張り											

海もなだらかで天候は曇り。絶好の航海日和と思われたが、出港後一時間にして突然リアナの船の右側方50mの位置で終末を思わせるような大爆発が起こり海が抉れた。パニックになったクルーたちは続々と甲板に集まってきた。リアナによるとアポカリプス（小）の練習だったらしい。ひどく怯えた船員が二人ほどいたが、エイルが【ブレッシング】で精神的なダメージを癒やして船旅を続けることとなった。船員たちの顔に不安が浮かぶ。

それから三日ほどはリアナの船の近くで巨大な槍が空に飛ぶなどの異変が発生した以外は特に何もなくて過ぎていった。リアナが暇を持って余して遊びに来たりもしたがエルルを見ると戻っていったようだ。

ブラッディシャークの襲撃

上陸の挽歌 8/18 22:27~8/19 0:28

四日目の19時頃。突然船が大きく揺れた。右から左から繰り返し何が船にぶつかってくる。どうやらサメのようだが詳細が分からない。見張りの当番だったミズキとフィミアがまず対応することとなった。他のメンバーが参戦できるまで20秒ある。



### 1ターン目

ミズキが【ウィスプ】で視界を確保した。フィミアは【フレイアシールド】を呼んで、風の精霊にリアナ号の追跡をさせた。確保した視界でミズキがサメを判別した。ブラッディシャークで数は5匹。クルーたちは艦砲射撃でサメを迎撃している。サメの攻撃が命中すると海に引きずり込まれそのままロストする。左から来たサメ2匹は船に体当たりをして船が揺れる。（命中・回避に-2。船上戦闘で軽減可）ミズキはセイラースキルで軽減し、フィミアは浮遊することで影響を受けない。右から来たサメ3匹はそれぞれフィミアとミズキと船員の一人に食いついてくるが、ミズキとフィミアはそれぞれ回避をし、避けられない船員にはフィミアがカバーをした。

ブラッディシャーク Lv12 とある島で実験改造されたサメ。甲板の人に飛びかかっては噛みちぎりそのまま海の飛び込み食らい漁る赤い人食い鮫。

### 2ターン目

ミズキは【ハンティングモード】【にゃんこスタイル】で構えをとった。左舷に集まったサメに対してミズキが【隠九尾・臓喰】で三匹を即死させ、残った二匹にもダメージを与えた。フィミアは【サモン・スルト】で炎の巨人を呼び出してダメージを重ねた。艦砲射撃がなおもサメを迎撃する。サメは一匹が体当たりをしてもう一匹はミズキに襲いかかったが盾に阻まれた。

### 3ターン目

ここで残りのメンバーも戦闘に駆けつけることができた。エルルは何故か何も着ていなかった。ミズキは【ハンティングモード】【にゃんこスタイル】で構えをとった。プリシラも【前羽の構え】の体勢。エイルは【サラマンダー】で炎を呼び出しサメにダメージを与えた。プリシラが【斬・気功砲】で氣の刃を飛ばしてさらにダメージを追加。ミズキは【隠九尾・臓喰】で再びダメージを重ね、即死には至らないものの一匹が力尽きた。エルルは【イービル】で呪力をサメに叩きつけもう一匹のサメも力尽きた。戦闘は終了した。

何度もサメが激突してきたが、船に損傷は出ていない。この戦闘で、見張り以外も甲板にいないといざアキに襲われたときに応戦できないということが露呈した。（寝ている場合、2d6以上で6以上が出ないと起きられない。甲板にいない場合は戦闘参加は3ターン目からになる）フィミアが風の精霊を放っていたこともありリアナ号からはそれほど距離を離されずに済んだ。

## 失策

上陸の挽歌 8/19 21:27~22:15

戦闘終了後、これからの方針を話し合った。幸い、船員たちはサメの襲撃をほとんど見ていなかったの、士気にはさほどの影響は無い。四天王からの襲撃の機会を減らすためにセイラー（デスペラード）スキル持ちに操舵を任せることで、船を加速させることとしてリアナと船長と話しをして船を加速させることとなった。リアナは船を加速させても襲撃を受ける回数は変わらないと言っていた。この意味をもっと踏み込んで考えておくべきだったし、先程の戦闘で得たはずの教訓を活かす宣言をするべきだった。しかし、このとき不用意に時間を進める宣言をしてしまった。その代償が目的地到達直前で目に見える形になった。

## 魔女

上陸の挽歌 8/19 22:16~8/20 22:19

加速した結果、船は次の夕方に目的地を視界に収められる海域まで進んだ。

操舵をしていたミズキが一行に聞こえるようにそれを告げた。

直後、船の前方から船首像に偽装していたQが出現してアキを呼んだ。

直後にアキが船の上空10mに出現。そのとき甲板にいたフィミアとミズキと戦い始めた。他のメンバーは3ターン目まで参戦できない。リアナはリアナ号からチーズを肴にワインを飲みながら観戦している。

### 1ターン目

ミズキは【ハンティングモード】と【にゃんこスタイル】の体勢。

アキは【分身】で3人に増えた。3人のほぼ同一存在のアキA・B・Cはそれぞれに行動するが魔術の核は存在する。(ダムビットも共有している)

ここでミズキはアキの実力を判別した。規格外の実力だが、3人のアキはどれも同じようどこかが違うようだ。(何かの値が1だけ違う)

どれが魔術の核なのか今のところは見分けられない。ミズキはアキCに【隠九尾・斬首】で攻撃をかけたがアキはダムビットで【テレポート】してこれを躲した。フィミアはドウバツハの槍を【マテリアライズ+】で3本複製して、【ワルキューレプラスター】で投擲した。ドウバツハはアキAに3本とも命中し、たまたまアキAが消滅した。

アキ 冒険者レベル12 マナエンプレス・ダークビショップ・魔女 能力：器用18 (3) 敏捷28 (4) 知力48 (8) 筋力12 (2) 生命21 (3) 精神72 (12) HP：42/42 TP：∞ ボスランク：即死攻撃無効 精神攻撃無効 ステータス異常無効 拘束系スキル無効 防御無視 3段階軽減 ターンごとに生命力10点回復 即死魔法・炎属性を無効化 先端に赤いクリスタルがついた杖を握っている。

### 2ターン目

ミズキは【ハンティングモード】と【にゃんこスタイル】を継続。

アキAを消滅させたフィミアの力を認めたアキB・Cは【ダブルキャスト】を使用する。

アキBとアキCは合体魔法【デストラクションレイ・レッド・クロス】をフィミアと船を狙って発射。フィミアは即座に【戦乙女の凱歌】と【ディメンションスリップ】でダメージを受けなかったが、船に大穴が空いて火災が発生した。

フィミアはエイルに向かって船の修理をするように指示。エイルは即座に戦闘参加を諦めて【マテリアライズ】と【水飛沫】により船の修理を開始した。

さらにアキBはミズキに【バインドジェイル】を、アキCもミズキに【ストーンジェイル】を放った。ミズキは化野の毛で【バインドジェイル】を拒絶しライフアミュレットで【ストーンジェイル】を無効とした。

ミズキはさらにアキを深く観察し、とうとうアキCが魔術の核であることを看破した。

フィミアはドウバツハを【マテリアライズ+】で8本複製し、【風磨忍術・拍手喝采】で一気に投擲。4本ずつがアキBとアキCに襲いかかった。アキBは3本の槍が刺さって消滅した。アキCはダムビットで切り札の【フォースフィールド】を展開し、命中した3本の槍のダメージを0とした。さらにフィミアは追撃で空に舞い上がりミスリルの大剣ベルセリオスでアキCに斬りかかったが、これも【フォースフィールド】に阻まれた。ミズキはムーンライトブレードを抜いて刃を伸ばすと一気にアキCに斬りつけた。アキCは少なからず傷ついたがまだ戦闘可能。

### 3ターン目

ここでプリシラとアロンザとエルルが甲板に到着して戦闘に参加した。アキCはHPが10回復。

プリシラは【先之々】で強引に先手をもぎ取り【前羽の構え】で構える。ミズキは【にゃんこスタイル】をとることができず【ハンティングモード】の体勢。

アキCは【ダブルキャスト】を宣言し高速詠唱の体勢。

即座に【鬼・気功砲】を放ったプリシラ。アキCは体勢が崩れてしまい、螺旋を描く気弾をまともに受けそうになるが、瞬時に【フォースフィールド】を切ってダムビットで【ルーンシールド】を発動。それでも完全には威力を殺しきれない。

アキCは【アポカリプス（小）】でフィミアとミズキを殺しにかかる。甲板に叩き落された二人はマジックアミュレットを使い、何とか戦闘不能を免れる。さらに【トゥルーオブザレッド】の赤い炎でこの術が効かないエルル以外を薙ぎ払った。プリシラは【回し受け】でこの炎を受け流し、フィミアとミズキとアロンザはシールドを使って何とか耐えた。

ミズキは【隠九尾・斬首】でアキCを滅多斬りにした。アキCは墜落して海中に消え、いつの間にかQの姿も消えている。

戦闘終了したフィミアは船を修理しているエイルに合流し、十分程で船の修理を完了した。船は島から300mほどまで近づいている。

## キョロちゃん

上陸の挽歌 8/20 22:21~8/21 0:07

リアナに急かされ船を島につけようとする、回復もしないうちに100mほどに近づいたところで海面が盛り上がり赤い巨人が現れた。リアナによると島の防衛機構の魚で赤い船以外は全て食べてしまうらしい。全長約20mほどの巨人を判別しようとしたが、下半身が見えなかったせいか詳しいことは分からなかった。彼岸島というところから連れてきたらしい。リアナが名前だけ教えてくれた。

キョロちゃん Lv20 ポスランク：2回行動 即死攻撃無効 精神攻撃無効 ステータス異常無効 拘束系スキル無効 防御無視 3段階軽減 ターンごとに生命力10点回復 即死魔法・炎属性を無効化

### 1ターン目

ミズキは【ハンティングモード】で構える。アロンザは【ガチ】で覚悟を決めた。プリシラは【前羽の構え】で構えを取る。エルルは【ヒール】でフィミアとミズキを回復。エイルはグングニル（偽）を8本呼び出すと、【風磨忍術・拍手喝采】で一気に投げた。ミズキはムーンライトブレードの刃を伸ばして特殊攻撃をかける。プリシラは【正拳】【正拳】【前蹴り】【正拳】【正拳】【前蹴り】のコンボを打ち込んだ。フィミアは【ヴァルキリアロンド】を繰り出し追撃の【ニーベルンストライク】を打ち込む。アロンザはヨームの戦斧を叩きつけた。波状攻撃のほぼ全てを受けた巨人だったがさほどダメージを受けている感じがしない。

キョロちゃんは船を持ち上げてから海に叩き落とした。船が激しく揺れて一行だけでなく船員たちも弄ばれた。次に巨大な右手をプリシラとフィミアに打ち下ろした。プリシラはエルルの【ブルースフィア】の援護をもらい、プロテクトアミュレットを割って耐えた。フィミアにはエイルが【カバームーブ】で割って入り【愛は無敵！】でダメージを食い止めた。

### 2ターン目

エルルは【レッドペインター】でミニタイタニック号を赤く塗り潰した。その結果、キョロちゃんは発狂した。リアナの命令一つでキョロちゃんは海に戻り、戦闘が終了した。

戦闘が終わり、船を接岸させ、世界のへそに到達した。船に損傷はなかったが、船員たちは骨折や嘔吐などでひどい有様になっている。聞けば普段のリアナはポータルでこの場所に来ていたらしい。今回は船旅を楽しむのと四天王をおびき寄せて退治することが目的だったという。

世界のへその中で少し仕事をすると云ったリアナ。エルルはついていく気満々のようだ。

## 入り口

上陸の挽歌 8/21 21:01~21:59

島の上には大きな立方体に乗っている。アロンザとぐったりしている船のクルーたちの手当をエルルとフィミアとエイルで済ませると、全員で世界のへそに入ることとなった。リアナも特に嫌がる様子はない。

リアナが立方体に手を当てると入口がドアのように開いた。中はエレベータになっている。エレベータは自由落下のように落ちていく。行き先を訊かれると、リアナは『赤い世界のもっと先。原初の場所』と答えた。エリュテティア神殿の信徒にとっては聖地らしい。精神的ショックに備えてイブを服用するアロンザとフィミアとミズキとエイル。エイルはさらに自分に【ブレスリング】をする。20分ほど降りると目的の場所についた。

## リアナ神殿

上陸の挽歌 8/21 22:01~23:11

エレベータの扉が開くと、そこは真の赤でできた神殿だった。作りは普通の神殿に近いが壁はドロドロとしたマグマのようだった。それにもかかわらず暑くはない。大方の予想通りエルル以外は目標値20の精神（恐怖）抵抗を課された。判定に失敗すると発狂してしまうが、事前の準備がほぼできていた一行は全員発狂を免れた。

ここはリアナの神殿だった。ここにリアナ以外の人間が入るのは初めてらしい。質問タイムに入る一行。

神殿ではあるがここは祈りを捧げる場所ではない。どこまでも真っ赤。ただの魔力吸い取り施設。この施設の維持の目的は暇つぶし。

リアナの仕事はこの神殿のコアから星の力を汲み上げて、月に一度エリュテティア神殿の信徒に分け与えること。しかし、この神殿はエリュテティア神殿とは何の関係もない。魔力を分け与える仕組みは後付だった。コアはこの星のコアであり、コアから魔力が枯渇するとこの星は終わり、割れて爆発する。リアナの行為は間違いなくこの星の寿命を縮めている。

リアナが存在するだけでコアから魔力を吸い取っている。魔力がコアに補充されることはない。リアナが力の吸い出しを止めることもない。**止めたいのなら『裏ボス』であるリアナを殺すしかない。**この星が終わったら次の星へ行くだけ。星の力が尽きる時期は分からないが、リアナは飽きたら一日でエネルギーを全部吸い出して次の星に行く。（星を維持したいなら）彼女を飽きさせてはならない。リアナがこの星からエネルギーを吸わなくなってもいずれコアのエネルギーは枯渇する。しかし、それは数億年は先になるだろう。

この星の本来の色が赤。だからリアナは赤い。

リアナは普通の人間だったが、“人が願ったことにより”“目覚めた”時に頑張ってここを作ったらしい。リアナは【星喰い】。エネルギーを配布することで星の寿命を削ったとしてもエリュテティア信徒は幸せになる。リアナとしても信徒にちやほやされるのは多少は気持ち良いらしい。他の神殿の神でも分配の方法は色々だがこれと同じようなエネルギー配布をしている。

デバイスリフレクターもリアナと同じような仕組みで人の願望を叶えている。行き過ぎた願望を実現しようとする防衛機構（安全装置）としてシンカーが発生して妨害する。シンカーの成り立ちを理解できているから、リアナとエリュテティア信徒はシンカーに強い。

シンカーはこの星の防衛機構なので、リアナ神殿よりも上層で作られる。シンカーを作るのにもこの星の力を消費する。

Qはリアナと同じ。宇宙からの来訪者。Qとリアナは別存在。リアナは巨大化しない。別の世界線（GS第17話「虹色の英雄・後編」に登場したアルティメット体）のようなことにはならない。リアナ以外にも同じようなことができる存在がいてもおかしくない。

リアナにかけられた願いは『人の欲望のとおりになる世界であって欲しい』。

四天王やキミリアにどこまで教えていいかは、一行に委ねられた。四天王は真相に薄々気づいているはず。

リアナは神殿の奥の、台座に赤い結晶が乗っている場所に行く。その奥には赤い心臓のような蠢く壁があった。リアナはその壁に触れると魔力を吸収して、それをクリスタルに流し込みエリュテティア信徒に対する義務を実行した。すると蠢く壁の赤い光が弱まった。

リアナの回答の全てを聞いたプリシラは、星から得ていたであろう力を無駄に使わないようにしながらリアナを殴った。この星のヒトからすれば当然の反逆と、リアナも逃げなかった。険悪になるエルル。

リアナの義務と話が終わると一行はリアナとともに15分ほどかけてエレベータで地上に戻った。

## 帰路

上陸の挽歌 8/21 23:12~23:31

神殿で見たもののことを思うとこれ以上リアナの力を無駄に使いたくはないものの、船のクルーたちは（主にキョロちゃんのせい）満身創痍なためリュカーへの航海には耐えられそうにない。リアナに船ごとリュカーに送ってもらうこととなった。

リアナからお小遣いとして白金貨（10000セレン）を2枚もらった。

誰もが星の力を消費している。循環の方法を考えなければならない。そんなことを言っていると、どこからか現れたQが『エントロピーの法則をしってるかい？』と一言残して消えた。そしてリアナは【いてつくはどう】で一行に施したレベルアップパフを解除した。（習得した奥義は残る）

リアナが戻ると一行は船員たちを軍に引き渡してホオヅキへと戻った。

## シオンの店再び

上陸の挽歌 8/21 23:33~8/22 0:09

一行は契約に従って四天王への報告義務を果たすためにシオンの店に移動した。四天王がそれぞれ揃っている。

メルヴァとシェルディナはミズキからリアナの好感度が上がったと聞きそれぞれ喜んだ。

エルルはリアナ自身は好きではないアキには冷淡。しかし、それ以外の3人にすべてを話そうとしてフィミアに止められた。

Qにエントロピーについて質問したプリシラにQは、力を使いすぎると自分に戻ってくることと一度増大したエントロピーは戻らないと話す。つまり、星のコアから出たエネルギーを元に戻すことはできない。コアにエネルギーを補充する方法についてははぐらかされた。

Qはエリュテティアの敵だと話すフィミアに対し、アキはあっさり肯定する。

結局プリシラが、リアナが星の中心でエリュテティア信徒に魔力を広げる儀式をしていたと説明した。リアナが予想したとおり四天王は誰も驚かなかった。

アキは追加情報を欲しがったが、プリシラはそれ以上は語らなかった。

報告を聞いたQは実質この星はリアナに支配されていると考察をした。Qは宇宙から特異点であるリアナを観察に来たらしい。この星が最終的にどうなるのか非常に興味があるという。アキによるとQはどれだけ殺しても代わりが出てくるらしい。

## 激怒のキミリア

上陸の挽歌 8/22 0:11~0:45

キミリア元帥に報告しようとしたら逆に彼女の部屋に呼び出された。

最初から激怒しているキミリア。船を真っ赤にされたのが屈辱だったらしい。リアナをぶん殴ってやると息巻くキミリアにプリシラはリアナを殴ったと言った。リアナが痛がったということで多少は溜飲を下げた様子。強力なモンスターへの対策として船を赤くせざるを得なかったことと船の色は30日で元に戻ると説明したら、船長からの報告もあったようでキミリアは理解してくれた。それから航海費の確認をした。

次に行き先について訊かれ、目的地は【世界のへそ】だったこと、地下深くに神殿のような場所がありリアナがそこで力を汲み出してエリュテティア信徒に分配していたということ、力は星から汲み出していたことを報告した。リアナが神気取りかと言うキミリアに一般論でエイルは答えた。キミリアもまたQと同様にリアナが世界を支配しているという言葉に行き着いた。

それらのことを知ってなおリアナを殴ったプリシラの勇気をキミリアは讃えた。女王への報告に困るキミリア。退屈をさせないことで延命ができるとフォローするミズキ。キミリアはホオヅキの上層部へは追って通達すると言い、一行は報告を終わった。

## リザルト

上陸の挽歌 8/22 0:47~0:56

経験点：20000 SP：参加キャラのレベル×20 報酬：リアナから20000セレン、キミリアから10000セレン

必要経費：一人あたり2500セレン（合計で15000セレン）

今回シナリオはGS外伝第4話となった。（3.9話にはならなかった）

リアナから受け取った奥義はそのまま習得とできる。

なお、シオンの店は8/22夜まで営業している。

## 時系列

1日目	依頼を受ける。シオンの店で四天王と交渉及び情報収集。キミリアに船を手配してもらい、すぐにリュカーへと移動。船に入る。
2日目	リュカー中の灯台に仕掛けられた赤いクリスタルの洗脳攻撃と隕石による空爆を受けた。6時半にリアナに叩き起こされた。赤の超祝福を付与。7時にリュカーから出航。リアナがアポカリプス（小）の練習をした。
3日目	
4日目	
5日目	ブラッディシャークの襲撃を受け撃退した。船を加速した。
6日目	目的地を目視。船の上空に潜んでいたアキが姿を見せ、戦闘になったがアキを撃退。赤い巨人と戦い、撤退させた。世界のへそに上陸。リアナ神殿で世界の秘密を見る。ポータルで船ごとリュカーに帰還。赤の超祝福を解除。（奥義だけ残る）四天王とキミリアに報告。冒険終了

## 固有名詞まとめ（人名以外）

世界のへそ	場所	ティガールの首都リュカーから船で1週間ほどの海域。世界地図の中心近くにある。どういうわけか船舶の航路はその海域を避けており、キミリアですら理由を知らない。エリュティア四天王アキはそこにリアナの力の秘密、邪神になれた理由があると確信している。Qによるとそこは人工的にできたものではなく、空から何かが落ちてきてきたらしい。何が落ちたのかはQも知らないという。シオンは行ったことはあるが内部に入ったことはない。 実際の内部は地下5000kmにあるこの星のコアに作られた真の赤でできた『神殿』だった。リアナはこの場所で星から魔力を吸い取ってエリュティア神殿の信徒たちに分配していた。リアナが全てのエネルギーを吸い尽くしたらこの星は割れて爆発するらしい。
リュカー	地名	ティガール帝国首都。アキのテロにより港の灯台はほぼ全て破壊された。
キョロちゃん	モンスター	赤い怪魚人。赤い船以外には襲いかかる習性がある。

## ネームドNPCリスト

リアナ	<p>現人神。裏ボス。自称人間。謎の存在。今回の依頼者。キスをしなくても深化から人を回復させることができる。一週間の船旅は初めてだという。道中は禁呪や魔王について勉強をしていた。普段はポータルを使って一瞬で移動していたようだ。</p> <p>人間が『欲望を満たしたい』という願いによって『目覚め』、頑張っリアナ神殿を星の中心に作った。そして信徒に魔力を分け与えることでリアナは神となった。</p>
シェルディナ	<p>エリュテシア神殿四天王の筆頭。教主で神殿長。ヴァンパイアロードでミフネ・ダークビショップでレベル13。胸は小さい。彼女が普段いるのは暗黒大陸のエリュテシアでは最大の神殿。リアナのことになると四人の中では一番精神的に安定を欠く。第3話ではヒロインだった。この名前はエリュテシア神殿以外では通用しない可能性あり。</p>
メルヴァ	<p>エリュテシア神殿四天王。神殿長。神殿は建設中らしい。人間で聖騎士・暗黒騎士・ダークビショップでレベル12。享楽主義で楽しいことには首を突っ込む。エイルを玩具にしている。リアナのサドっぷりが好き。この名前はエリュテシア神殿以外では通用しない可能性あり。</p>
アキ	<p>エリュテシア神殿四天王。神殿長。シャドウでマナエンプレス（ノーブル・ミリタリック・魔女・残り不明）・ダークビショップでレベル12。この名前はエリュテシア神殿でしか名乗っていない。彼女の神殿はセレンとマレーンの国境近くにある。リアナの力にとても興味があり、四天王の悪巧みの水源。エイルを玩具にしている。リュカーの港を赤いクリスタルによる洗脳攻撃とメテオスームによる空爆で大混乱に陥れた。ティガールから手配書が出た。（生死問わず200万セレン）魔女は大きな代償と引き換えにダムビットと〇〇キャストの両方を使用可能のようだ。</p>
シオン	<p>エリュテシア神殿四天王。赤竜皇帝ヴァクスイリアとリアナのメイドで二人には恩義を感じているフシがある。神殿長ではなくレアルの神殿に所属。パレッサー・ダークビショップでレベル12。四人の中で一番精神的に安定している。底意地が悪い。この名前はエリュテシア神殿以外では通用しない可能性あり。</p>
Q	<p>アキの使い魔と思われていたが、実は使い魔ではなかったことが判明した。赤いマスコットのような不思議生物。実は宇宙からの来訪者。世界の特異点であるリアナに興味津々。世界のへそについてもある程度のこととは知っていたようだ。極めて怪しい。</p>
キミリア	<p>ティガール帝国軍元帥。リアナにいつも虐められている。その分部下にパワハラをしているという噂。今回はリアナに一泡吹かせるために色々と助けてくれているが、リュカーの港を破壊され怒り心頭。冒険者たちの報告を受けた彼女は上への報告に悩んでいる。</p>
少将	<p>キミリア子飼いの部下。</p>
船員	<p>今回酷い目に遭いっぱなし。ついてない。</p>



## 鉄壁防御・超英雄P・ステータスバフ可否リスト

キャラ名	鉄壁防御	超英雄P	STバフ
アロンザ	ギャングスタータフネス それは見た ホワイトダンス	2	○
エイル	戦乙女の凱歌 竜の鉄壁 見切り 愛は無敵! 剣の宣誓 ディメンションスリップ	4	X
エルル	タイムブック グレートヘイストセルフ	0	X
フィミア	戦乙女の凱歌 ディメンションスリップ	0	X
プリシラ		0	○
ミズキ	神楽・白面降ろし ブラー	4	○

### 必要経費

武装キャラック船レンタル料 (2週間)	10000		
船の運行経費	5000		
合計			15000

### シオンの店商品リスト

両替	セレン→赤金貨のみ。赤金貨は1枚1000セレン。赤大金貨は1枚1万セレン。紅白金貨は1枚10万セレン。 紅白金貨1枚 = 赤大金貨10枚 = 赤金貨100枚	
アスカロン	紅白金貨10枚	別名「聖ゲオルギウスの剣」。重さ20の刺しグレートソード扱い。アナザーワン。竜属性のエンチャントがあり、ベース+10、ドラゴンには更に+10。命中・ダメージ+2、ドラゴンには更に命中・ダメージ+3クリティカル-1。ドラゴンの使う魔法の抵抗+4。ドラゴンのプレスをディフェクト+6で無効化可能、装備中ドラゴンの判定-1。この剣でドラゴンにダメージを与えた場合1ダメージにつき1ターン飛行能力を奪う。基本取引価格100万セレン。一点のみ。
ラブリュス	紅白金貨5枚	女神信仰の象徴となった対称形の両刃斧。重さ22~30(選べる)のグレートアックス扱い。レジェンド。命中・ダメージ+2、人間以外の動物へのダメージ更に+2、範囲攻撃の命中更に+2。装備しているときプリースト・ダークプリーストの祈禱に魔力+1、回復量に更に+2。基本取引価格50万セレン。一点のみ。
超エリュティア ロングスピア	紅白金貨6枚	槍。レッドペインターの効果が2倍。強化内容は、バフする能力値(6種類)、バフとエンチャントの割合4:1~0:5(5種類)、エンチャントの内容は傲慢・処刑・強欲・手癖・嫉妬・逆境・憤怒・バーサク・色欲・繁殖・暴食・ドレイン・怠惰・命・炎・聖・竜・混沌・相反のいずれか(20種類)。組み合わせ合計で600種類。
超エリュティア チェーン	紅白金貨6枚	鞭。レッドペインターの効果が2倍。強化内容は、バフする能力値(6種類)、バフとエンチャントの割合4:1~0:5(5種類)、エンチャントの内容は傲慢・処刑・強欲・手癖・嫉妬・逆境・憤怒・バーサク・色欲・繁殖・暴食・ドレイン・怠惰・命・炎・聖・竜・混沌・相反のいずれか(20種類)。組み合わせ合計で600種類。
オリハルコン インゴット	赤大金貨2枚	在庫20まで

ヒヒイロカネ インゴット	赤大金貨5枚	在庫30まで
ブルーメタル インゴット	赤大金貨8枚	在庫30まで
天竜の船首像	紅白金貨2枚	自分の船に取り付けると、船を冒険中使用したとき獲得名声+5
闇のヒスイ	紅白金貨1.5枚	持ち主に厄災が降りかかるそうになると、その厄災を他人に転化させてくれる。所持している人がファンブルした時に使うか選べる、使うともう一度ダイスを振りなおせる。1度使用すると割れて直せない。(使い捨て) 重さ3。(データの効果はファンブルの振り直しのみ)
ターコイズブレス レット	紅白金貨1枚	ターコイズの宝石がちりばめられたブレスレット。恐怖抵抗に+3できるブレスレット。重さ1。
色欲は同性へのダメージ上昇、繁殖は異性へのダメージ上昇。(青文字は第3話でのデータ)		

狂紅病 (深度7以上は第3話のデータ)	
深度8	深度7に加えて、四天王の指示によって病状スイッチのON/OFFを自由自在に支配される。
深度7	深度5に加えて、赤い人の言うことに忠実になる。
深度6	深度5に加えて、赤い人のお人形になる。
深度5	深度4に加え、「赤」の洗礼を受けた状態になる。赤いものに攻撃できない。プリースト技能があればそれをレベルそのままエリュテシア神殿のダークプリーストにすることが可能。既に「赤」の洗礼を受けた場合は深度2から
深度4	赤と自分の欲望の為には何でもしたくなる。赤いものの攻撃する場合、毎回精神抵抗20が必要。
深度3	赤が大好きになって怒りやすくなる。赤を否定する人には特に。
深度2	赤が好きになる
深度1	赤が嫌いではなくなる
治療法	メディカルキュアで達成値28以上(赤い灯台の場合目標値は21以上)、ウォーターセラピー(狂紅病に汚染された水を使用してはならない)は達成値に関わらず、深度を1下げる。治療は一日一回まで。グッドエンドまたはトゥルーエンドで強制的に0に戻る。